

# 最先端科学研究に夢広がる

本県の子もたちが科学への夢を  
広げ、岩手の未来を考えるIILCク  
ラブ2期生の結成式が17日、盛岡市  
盛岡駅西通のマリオスで行われ、中  
学生4人が決意を新たにした。30

# クラブ2期生始動

メンバーは菅原桜さん  
(二関・大東3年)、大坂  
下侑さん(奥州・東水沢3  
年)、佐藤愛斗さん(盛岡  
・十淵2年)、平松和佳奈  
さん(釜石2年)。

岩手日報社の川井博之常  
務取締役が「一流の研究を  
学び、今後の夢望に生かし  
てほしい」と激励した。同  
社の熊谷宏彰報道部長が  
出前授業を行い、4人は本  
県の北上山地(北上高地)  
が建設候補地となってい  
る、宇宙の謎に迫る超大型  
加速器国際リニアコライ  
ター(IILC)の可能性につ  
いて認識を深めた。

大坂下さんは「CERN  
でどんな研究が行われ、そ  
の研究が世界にどんな影響  
をもたらすのかを学びたい」、菅原さんは「IILC  
がどのような科学技術の発  
展につながっていくかを知

科学の力で、  
岩手の明日をつくる。

JAPAN  
IILC  
2030

# 中学生4人学び決意 盛岡で結成式

日18月4日の6日間スイス・ジュ  
ネーブの欧州合同原子核研究所(C  
ERN=セル)などを訪問し、世  
界最先端の科学技術に理解を深め  
る。

りたい」と興味津々。

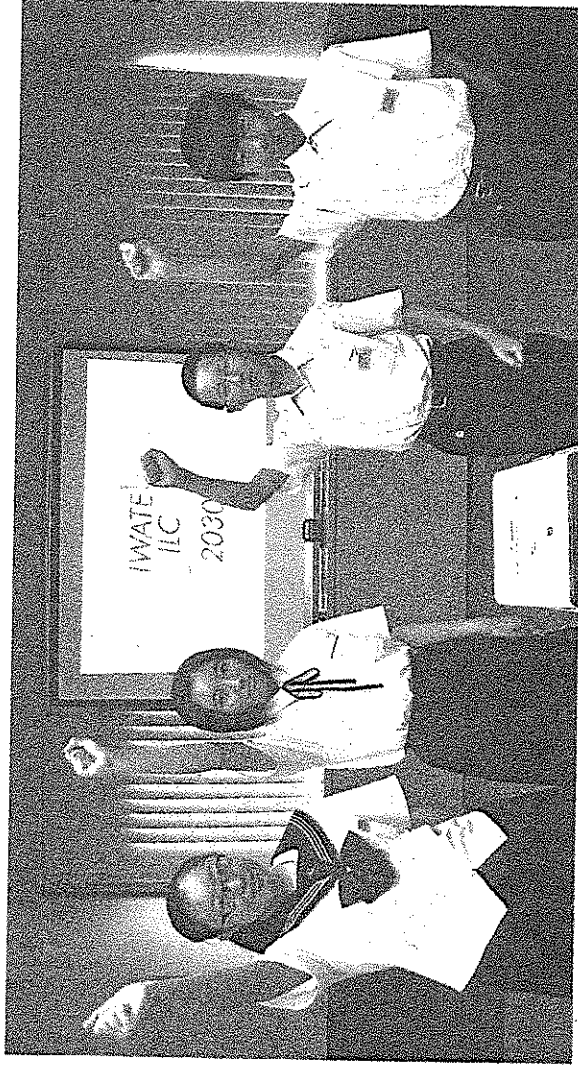
佐藤さんは「IILCの必  
要性や素晴らしい岩手や  
日本の皆さんに伝えられる  
ように精いっぱい頑張る」  
平松さんは「岩手の未来が  
どうなるのかしっかり考え  
ながら学習したい」と心を

弾ませた。

2期生は同日、隣のアイ  
ーナで行われたいわてまる  
ごと科学館(いわてサイエ  
ンスミュージアム実行委員  
会)で来場者にIILCクラ  
ブの活動をアピールした。

IILCクラブはIILC計  
画に関する「JAPAN  
IILC 2030」プロシ  
ェクト(同社主催)の一環  
で、昨年度は1期生5人が  
CERNなどを視察。県内  
や首都圏で研修成果を発表  
した。同プロジェクトは昨  
年の岩手日報創刊140周  
年記念事業として始まっ  
た。

(23日付の特集を掲載)

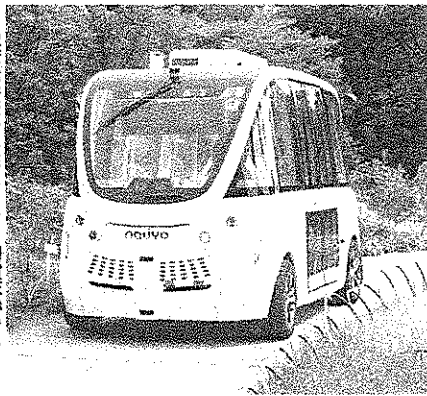


IILCクラブの活動のスタートを切った、2期生の(右から)  
佐藤愛斗さん、大坂下侑さん、菅原桜さん、平松和佳奈さん

自動運転バス公園をスイスイ

自動運転バスの実用化を目指す産学の連携団体が18日、国内初投入の車種のバスを使った実証実験を報道関係者に公開した。運転席のない車両が東京都港区の芝公園をスムーズに走行した。

このバスは、フランスのナビヤ社



実証実験で走行する自動運転バス  
18日午前東京都港区の芝公園

河北新報 8面 →

産学連携団体 都内で実証実験

が開発した自動運転専用の電気自動車で、名前は「ナビヤ・アルマ」。カメラなどで障害物を検知しながら、あらかじめ設定したルートを走る。

バスを所有するソフトバンクグループの「SBDドライブ」(東京)によると、スイスの都市が公共交通機関として2016年に導入したほか、米

国などでも試験されているという。連携団体は東大生産技術研究所やバス業界団体などで構成。23日まで実施して一般の人に試乗してもらい、安全上どんな注意点があるかを洗い出す計画だ。

自動運転バスは、ディー・エヌ・エー(DENA)が16年8月、これとは別の車種を商業施設で実験するなど、普及に向けた動きが広がっている。

← 岩手日報 5面



実証実験で走行する自動運転バス  
18日午前、東京都港区の芝公園

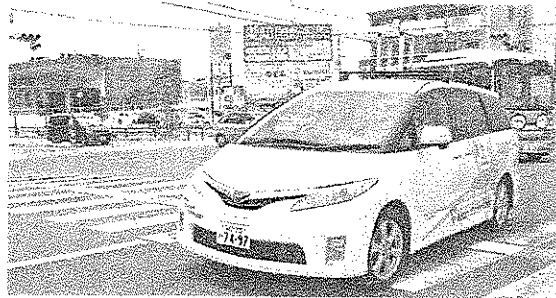
スムーズ!自動運転バス

自動運転バスの実用化を目指したルートを走る。目指す産学の連携団体が18日、国内初投入の車種のバンクグループの「SBDドライブ」(東京)によると、関係者に公開した。運転席のない車両が東京都港区の芝公園をスムーズに走行したほか、米国などでも試験された。

東京産学連携団体 国内初の車種、実証実験

このバスは、フランスのナビヤ社が開発した自動運転専用の電気自動車で、名前は「ナビヤ・アルマ」。カメラなどで障害物を検知しながら、あらかじめ設定

交差点を右折している自動運転車(14日、愛知県白進市)



## 自動運転 公道で実験

3次元地図に強いアイサンテクノロジーなど5社と名古屋大学が、自動運転車を愛知県内の公道で走らせる実験が始まった。14日に白進市の公道で、運転席に人が座る「レベル3」の自動運転を実験。今夏には、運転席に人が乗らずに遠隔で操作する「レベル4」の公道実験に取り組む。自動運転車は名古屋鉄道米野木駅前から愛知牧場までの3キロの決められたルートを走った。アイサンテ

アイサンや名大など

## 今夏にも無人操作へ

クノロジーが作る高精度の3D地図などにより、人が運転する車が周りにいても安定して走れた。無人タクシーなどを想定したモニター調査として14組28人が乗車した。東郷町の加藤良人さん(81)は妻の寿子さん(77)と乗車。「どっという仕組みか興味があった。公共バスは、無人自動運転になれば本数を増やせるのでは」と期待していた。

(名古屋)

# 自動運転、十分な議論を

## 学術会議 産学官の連携提言

日本学術会議は自動運転に関する提言をまとめた。世界で実用化に向けて研究開発が活発になっ

ているが、事故時の責任問題など検討課題が多

く、社会で受け入れる議論が十分でない」と分析。制度設計などの社会的課題も含め、産学官が連携して取り組む必要があると指摘した。

「自動運転のあるべき将来に向けて」と題する提言書は、運転者が全く運転にかかわらない完全自動運転に向け、日米独など各国で産業界や大

学、規制当局が連携して研究開発に乗り出している状況を概観した。部分だ」と強調した。

的な自動運転がすでに実用化される一方で、米國で死亡事故が発生し、乗観的に受け止められない状況であると分析した。

道路交通法規は必ずしも万全ではなく、現実の運転環境では運転者や歩行者らが暗黙下でコミュニケーションを取り、事故を回避していると指摘。単に技術的な課題を解決するのではなく、社会心理学的な研究や法規制のあり方なども並行して検討する必要があると提案した。

また産業競争力や国際協調を踏まえ、関連機関の連携を深めていくべき